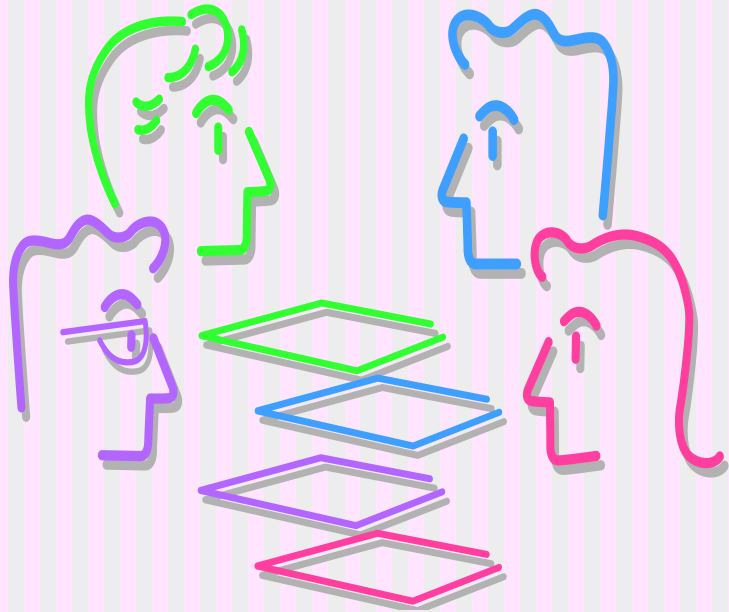


# Japalish発音が 意味理解と対人魅力に 及ぼす影響

---



神戸市外国語大学  
中西 のりこ

# 1. はじめに

---

- 日本人英語学習者の抱える問題
  - \* 「正しい」英語へのこだわり
  - \* 発信能力、意欲の低さ
- 日本人式英語使用の提言
  - \* 「Japalish」(渡辺、1989)
  - \* 「Englic」(鈴木、1986)
  - \* 「イングラント」(小田、1989)

## 2. 研究の目的

---

### Japalishの問題点

—「日本語なまり」の英語では通用しない？

- 言語として機能するか？

= Japalishが聞き手に理解されるか

- 話し手の対人魅力にどう影響するか？

= Japalishが聞き手に与える印象

# 3. 調査の方法

---

- スクリプト作成(資料1参照)
- リスニングテープ作成
  - \* 北米英語話者:カナダ出身、女性
  - \* Japalish話者:18歳まで海外渡航経験なし、  
英語発音学習経験なし、女性
- 質問紙作成(資料2参照)
- 予備調査
  - 被調査者:神戸市外国語大学の学生114人
  - TOEIC換算平均点 696.49点

## 4. 結果－意味理解①

sE発音とsJ発音聞き取りの正答数の比較

(14問中平均)

	Nc	Wc
sE	9.25	12.94
sJ	7.18	12.08

- sE発音の方がsJ発音より理解されやすい。
- Wc文については、天井効果が見られた。  
→文脈を補えば、どちらの発音でも理解されやすい。

## 4. 結果—意味理解②

聞き手の英語力と理解の関係

(Pearsonの相関係数)

	sENc	sJNc	sEWc	sJWc
英語力	.29**	.05	.37**	.12

\*;  $p < .05$ 、 \*\*;  $p < .01$

- 聞き手の英語力とsE発音の間に弱い正の相関。  
→ 検定試験は、「標準英語」を基準にしている。

## 4. 結果—対人魅力①

sE発音とsJ発音から受ける対人魅力の比較  
(5段階評定平均値)

	親密	交遊	承認	共同	全体
sE	2.87	3.23	3.24	3.44	3.16
sJ	2.63	2.55	2.84	2.50	2.63

- 全ての因子について、sE発音の方が高い評価。  
→方言話者に対するマイナスイメージ

## 4. 結果—対人魅力②

聞き手の日米イメージと対人魅力の関係  
(Pearsonの相関係数)

	親密		交遊		承認		共同	
	sE	sJ	sE	sJ	sE	sJ	sE	sJ
北米	.14	.04	.23*	.13	.03	-.07	.24*	.03
日本	-.06	.13	.11	.22*	.02	-.09	.13	.14

\*;  $p < .05$ 、 \*\*;  $p < .01$

- 国、地域に対して持つイメージと発音から受ける対人魅力の間に強い相関は見られなかった。



# 5. 今後の研究課題

---

## ■ 聞き手（被調査者）

- \* 北米
- \* 北米以外の英語圏
- \* 日本以外の非英語圏

## ■ 音韻論全般

- \* 調査対象の音素
- \* リズム、イントネーション
- \* スピード